

# 自立活動だより



今号は、本校で使用している教材教具の一部を紹介します。児童生徒の実態を把握し、興味・関心を考え、身に付けたい力を育てる手段として活用しています。

## 認知力

### 数字の配列



1枚の数字カードを5秒間提示し、5秒後に紙に書きます。または、4枚の選択肢カードの中から正しい数字カードを選ぶようにします。

### いろいろな形



ベースに立っている棒の数に合った形板を置く教具です。形板の色や形、入れる順番等が学習できます。また、目と手の協応課題としても使えます。

### コップかくし



数個のコップの中に1つの物をかくし、5秒後（15秒後、30秒後）に当てる課題です。興味のある物とそうでない物を隠すこともします。興味のない物も記憶できるとよいですね。

### 漢字イラストカード



「漢字が書けない」「漢字は書けるが、細部を間違える」といった子どものために開発されたカードです。

## 体を使った動作

## 感覚の特性

### ホーススウィング



揺れる感覚を感じたり、乗ったままボールを投げたりできます。貸し借りのやり取りや順番を守る学習にもなります。

今年度、ライオンズ様より寄付していただきました。

### トランポリン



気持ちが落ち着かないときの気分転換や、飛び跳ねることが好きな子どもの動きをプラス面としてとらえて使用しています。

## 手・手指の巧緻性

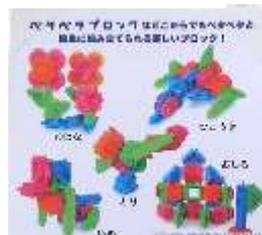
## 感覚・力加減

### 円柱差し



大きさや長さの異なる穴に、見分けて、適切なバグを差していきます。

### ペタペタブロック



弱い力でも簡単に組み立てられる楽しいブロックです。

### 砂遊びセット



屋内で遊べる砂です。皮膚感覚を通して刺激をとらえます。

セルフコントロール

人間関係

SST 絵カード



- ① どうしているの？
  - ② 次はどうなりそう？
  - ③ どうすれば良い？
- を考えます。

- ・時間的、空間的な文脈の中で、場面や相手の気持ちを考える。
  - ・社会的な常識と許される範囲の行動を考える。
  - ・場面の把握や対処を考える。
- など。

感覚の補助手段

イヤーマフ



音に過敏性のある子どもが、音の刺激を軽減するために使用しています。

コミュニケーションカ

語彙・語連鎖絵カード



「男の子が立っている」



絵カードを見ながら、何をしているところか話します。

サバイバルゲーム



人生ゲーム



友達と一緒にゲームを進めたり、対決したりします。

第3回 自活の会 (夏休み中)

今回は、1学期中の自活の時間に行った学習内容について、学年間で共通理解しました。そこで見えてきた課題や、生活の中で困っている様子を踏まえ、2学期に行っていく内容を話し合いました。

Aさんの目標

「自分の気持ちや経験したことを文章で伝えることができる。」(3-③)



よく分析する

目標 語彙を増やしてほしい。  
→絵を見て物の名前を答えたり、動作を組み合わせで答えたりする活動に取り組む。

目標 質問に文章で答えてほしい。  
→穴あきシートを用意して昨日の晩御飯や今日の体調、楽しみな授業を記入し、文章で発表する機会を設ける。